

ブラニスラブ・カペタノビッチさん (Branislav Kapetanovic)

1965 年生まれ、セルビア共和国ベオグラード在住。
カペタノビッチさんはセルビア軍の技術者として不発弾の処理・回収作業をしていた 2000 年 11 月、セルビア中部の町クラリエボで事故にあった。「目の前が見えなくなり、何も聞こえなくなった」。病院に運ばれる直前に心停止したカペタノビッチさんは、その後 20 回もの手術を受けて回復したが、両手首から先と両足を失った。リハビリで 4 年間の病院生活を経て退院したものの、爆発時の衝撃で片目は現在でも不自由で、左の耳の聴覚を失ったままだ。



不発弾処理の担当だった 1999 年当時、北大西洋条約機構 (NATO) 軍は連日、セルビア各地をクラスター爆弾で空爆していた。当時使われていたのは不発率が極めて高い種類だった。「攻撃対象は軍事施設だけでなく市街地の病院や市場にも及んだ」という。

カペタノビッチさんは空爆があると現場に駆け付け、不発弾を回収する毎日だった。1999 年 5 月 7 日には、目の前で数十人の市民が同爆弾で死傷するのを目撃した。「通りに横たわるたくさんの遺体をまたいで、不発弾の処理をしなければならなかった。あの日のことは決して忘れない。市民に多くの被害を及ぼすクラスター爆弾がなぜ使われなければならないのか、私には理解できない」と話す。

カペタノビッチさんは現在、クラスター爆弾の禁止を目指す NGO ネットワーク「クラスター兵器連合 (Cluster Munitions Coalition=CMC)」のスポークス・パーソンとして世界を駆け回り、クラスター爆弾の禁止を訴え続けている。